



# 校友会会報

第15号

2009年1月1日

編集・発行

酪農学園大学同窓会  
校友会会報編集委員会  
〒069-8501 江別市文京台緑町582  
同窓生会館内

☎ (011)386-1196  
FAX (011)386-5987  
HP: <http://dousoukaikouyukai.web.infoseek.co.jp>  
E-mail: [rg-kouyu@rakuno.ac.jp](mailto:rg-kouyu@rakuno.ac.jp)

## ‘新’環境システム学部1期生の卒業にあたって



環境システム学部長  
山舗 直子

同窓生の皆様にはお元気でご活躍のこと  
とお慶び申し上げます。昨年の4月から環

境システム学部長を務めています。就任の年には、学部10周年を迎え、今年、2005年度に再編して生まれた新しい学部の1期生を送り出す節目の年となりました。

環境システム学部は1998年に酪農学園大学の第3番目の学部として、経営環境学科と地域環境学科の二学科で発足しました。2003年度、開設わずか6年目でしたが、学部の再編という大きな判断を迫られるに至りました。2005年4月から、環境を自然科学的手法で教育・研究する部門として新しく「生命環境学科」を開設し、経営環境学科は環境時代の社会と企業をマネジメントすることを目標とした「環境マネジメント学科」としてあらたにスタートし、地域環境学科では、名称はそのままですが、環境政策や環境教育をより明確に打ち出しました。昨年度、学則において「学部の目的」が加わり、「学士の名称」の変更がなされました。『環境システム学部は、酪農学園創立の基本精神に基づき、環境をめぐる諸問題について総合的な教育・研究を行う学部であり、資源の循環に取り組む企業活動や環境保全型地域社会の創造及び地球環境保全活動を支え、環境と調和・共生する社会の形成に貢献することを目的』とし、卒業生には、『環境学の学位』が授与されます。経営環境学科と地域環境学科では、2007年度までにそれぞれ880名、1,009名の卒業生を送り出しています。今年度は、生命環境学科97名、環境マネジメント学科58名、地域環境学科88名の4年生が、現在、卒業に向けて頑張っているところです。

昨年開催した10周年記念行事には、全国各地から40名余りの卒業生にご出席いただきました。ゴア前米国副大統領の

著書『不都合な真実』の翻訳者としても著名な枝廣淳子さんを迎えて、講演とそれに引き続いてパネルディスカッションを行いました。本学部の卒業生3人が枝廣さんとともにパネリストを務め、仕事や研究を通じた環境を巡る問題や取り組みを紹介しながら個性あふれる意見を述べていました。また、交流会においては、スピーチする卒業生たちからは、様々な場で、生き活きと過ごしている様子がよく伝わってきました。

創業者・黒澤酉蔵先生が17歳で田中正造に師事し、足尾鋳毒の被災農民の救済に当たったのは、今から100年余り前です。その農民の救済は困難を極め、そこから「環境問題に対応して一人ひとりが自覚し、奮起しなければならない」と青年の心に重大な気付きがあったことが「黒澤酉蔵伝」に記されています。21世紀における世界的規模の環境問題では、一つ一つに対しては根本的な解決につながらず、部分を集めても全体を動かすことにはならない現実を見据えなければなりません。‘環境’をシステムとして取り扱おうという本学部において、学生たちは幅広い視野、多様な視点、長期的な展望を学んでいます。既成の枠におさまらない発想、エネルギーに行動する人たちが育っていきます。卒業後は、それぞれ働く現場で足元をしっかりと見つめ、どう力を発揮するか、社会の中で実践し続けていることでしょうか。社会へ貢献する様々な輪はまだ小さいですが、これから少しずつ、しかし確実に広がっていくことと思います。

‘新’環境システム学部の1期生を送り出すことは大変嬉しく、皆様方の格別のご理解とご支援の賜物と感謝いたします。大学を取り巻く状況の厳しい時代ですので、酪農学園大学にある環境システム学部の特徴をさらに発揮した教育・研究を充実させるべく、この節目を越えて、より一層励んでいきたいと考えています。

同窓会の皆様のみますご健勝とご活躍をお祈りいたします。

## 校友会単位同窓会活動報告

### 酪農学部

#### 酪農学科

酪農学科同窓会事務局長

小山 久一

酪農学科同窓会の大きな行事でありますホームカミングデー記念同期会をホームカミングデーに合わせて9月13日に新札幌のオークシティホテルにおいて開催いたしました。今回は、今年で卒後10年、20年および30年目に当たる同窓生(卒業周年記念同期会)ならびに現職および退職された教職員の皆様、さらに農業経済学科、食品科学科、食品流通学科および短期大学部との合同で開催されましたので、全体で90名と大勢になりました。会は小阪進一酪農学科長の挨拶の後、懇親会に移り、各期および現・旧教職員の紹介や近況報告を行うなど和やかなうちに進行し、集合写真を撮影して終了いたしました。また、当日は3期生11名が札幌のガーデンパレスに集まり、同期会を開催しております。

2009年度もホームカミングデーに合わせて今年と同様な方法で卒後10年、20年および30年の周年同期会を実施する予定でありますので皆様のご参加をお待ちいたしております。

長い間、卒業生に贈呈していた学位記を入れる桐の箱が2008年度の卒業生から両開きのファイル方式になります。桐の箱は多くの卒業生に親しまれてきましたが、2008年度から学位記のサイズが従来よりも小さいA4版になることに伴い、種々検討して決定いたしました。

2008年度の酪農学科同窓会事務局長は、これまで長年担当しておりました野 英二局長(11期)から小山久一(9期)に交代いたしました。少しでも同窓会のお役にたてるよう努力いたしますのでご協力をよろしくお願いいたします。

#### 食品科学科

食品科学科同窓会事務局長

岩崎 智仁

食品科学科同窓会は、今年度も同窓生の住所録管理を中心に活動を行いました。今年度の卒業生に対しては、卒業記念パーティー開催への補助ならびに学位記の桐箱等の贈呈を行いました。2008年5月31日には、塩見徳夫教授の退職記念祝賀会が開催され、わずかではありますが後援をさせていただきました。さらに、2008年9月13日に行われたホームカミングデーにおいて、食品科学科8期同期会が開催されましたので、こちらもわずかですが後援をさせていただきました。

今年度は食品学科設立20周年目の年になります。それに伴って食品科学科同窓会も会員数が増えて1900名を超える大所帯になってまいりました。今後も同窓生の皆様の様々な同窓会活動を支えて参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

#### 農業経済学科

農業経済学科同窓会事務局長

佐々 秀和

農業経済学科同窓会では、主に2つの行事を主催・協賛させていただきました。

##### 1. 卒業式、記念祝賀会

2008年3月12日に本学では卒業式が執り行われ、農業経済学科としては第44期の卒業生を送り出しました。同窓会では卒業証書用に桐箱とシャチハタ付きボールペンを記念品として卒業生に贈呈いたしました。またその夜には、卒業を祝して農業経済学科同窓会主催の卒業記念祝賀会を札幌ガーデンパレスにて開催させていただきました。卒業生および教職員を含め約90名の参加となり、豪華景品!?が当たるビンゴゲーム等を企画し、盛大に終わることが出来ました。

##### 2. 農業経済学科長杯争奪スポーツ大会

2008年6月14日(土)農業経済学科主催(共催：農業経済学科同窓会)のスポーツ大会が開かれました。大会運営は健康科学研究室の3、4年生が中心となりゼミ対抗で「ミニバレーボール」を実施しました。開会式では荒木学科長と澤田同窓会長より激励をいただき、予選リーグと順位決定トーナメントを行い、熱戦が繰り広げられました。同窓会では恒例となっております景品を用意させていただきました、入賞チームに贈呈いたしました。

他には同窓会報の発行や同期生同士で開催される同窓会の支援および補助を中心に活動しております。



#### 食品流通学科

食品流通学科同窓会事務局長

西田 智

食品流通学科同窓会の2007年度の活動としましては、2008年3月に卒業生(第11期生)への卒業パーティー支援という形でお手伝いさせていただきました。

内容としましては毎年のことではありますが、卒業生への記念品としてペーパーウェイトと学位記の筒を贈呈し、3月12日に札幌のセンチュリーロイヤルホテルでおこなわれた卒業パーティーにて、学生の会費の補助やビンゴゲームでの景品の補助をおこないました。

ちなみに1994年に食品流通学科の第1期生が入学して、今年で第14期生の入学生を迎えることになり、卒業した同窓生も900名を越すまでになりました。

今後も食品流通学科の同窓会活動にご理解・ご協力頂けますようお願い申し上げます。



## 獣医学部

### ■獣医学科

獣医学科同窓会事務局長

加藤 清雄

獣医学科同窓会では全国を14のブロックに分け、ブロックから1、2名の代議員を選出し、最高議決機関である代議員会を開催しています。しかし、ブロックは複数の支部から構成され、一人の代議員が複数の支部の意見を集約することは困難であるとの意見が多く出され、来年度より各支部長(道内は支庁ごと、道外は都府県ごとに組織され全国で59支部)が代議員となり、代議員会を開催することとなりました。

獣医学科同窓会会長賞である「三愛賞」は、顕著な功績を挙げた同窓生に授与される同窓生の部と、学生時代の諸活動を通して同期の仲間から評価された個人や団体に授与される学生の部(当該年度卒業生)から成ります。第3回同窓生の部は第17期(1984年3月卒)の坂東元氏が、旭川市旭山動物園に勤務する獣医師として、動物の野生環境を重視した展示方法の工夫により動物の生き生きとした姿を見ることを可能にし、国内のみならず世界から脚光を浴びるまでに旭山動物園を発展させ、地域の活性化に大いに貢献し本同窓会の名声を高めたことが評価され受賞されました。

第3回卒業生の部は、近田正男氏と鶴田衛氏が「獣医ネットワークの会」をつくり情報交換による学生間の連絡連携強化をはかり、また親睦会を開催し学生間の親睦を深め学友の誇りとなる学生であったことが評価され受賞されました。

卒業生の部の表彰は学部の卒業式(学位記授与式)において行われました。同窓生の部の表彰式は10月3日午前10時より学生ホールにおいて執り行われ、引き続き受賞記念講演を行っていただきました。



獣医学科同窓会では、卒業期ごとの記念同期会や支部の同窓会が活発に行われております。助成金の申請が行われ事務局が把握している同期会は6つ、支部同窓会は8つ開催されました。3期生は来年卒業40周年を迎えますので、同窓会誌に同期会の開催予告を掲載しませんかと依頼したところ、毎年開催しているのでその必要はないということでした。私は5期生ですが、40周年までは待てないということで37周年同期会を初めて大学に集合せず大阪で開催いたしました。今回で6回目の同期会になりますが、初めて参加した仲間がおり、話題の中心でした。

このような固い団結力を示す同窓会が同窓生の親睦ばかりでなく、母校の発展に貢献できる同窓会となることを目標に、ますます充実、発展を期したいと思っております。

## 環境システム学部

### ■経営環境学科

経営環境学科同窓会事務局長

永田 真弓

1. 卒業生への贈呈
  - 1)卒業証書を入れる桐箱
  - 2)卒業記念品としてエコバッグ・スプーンセット
  - 3)集合写真を撮影しその後郵送にて配布
2. 祝賀パーティ(アークシティホテル)
 

祝賀パーティの会費補助1人3,000円
3. 学科教員への記念品 茶器セット、茶葉
4. 学科への記念品 鏡(中央館9F)
5. 環境システム学部創立10周年記念フォーラム協賛(開催費用補助)

環境システム学部創立10周年を記念し、2007年10月13日(土)に記念フォーラムが開催されました。経営環境学部同窓会として、開催費を一部助成させて頂きました。

### ■地域環境学科

地域環境学科同窓会事務局長

吉田 陽平

1. 卒業生への贈呈
  - 1)卒業証書を入れる桐箱
  - 2)卒業記念品として「MY箸」
  - 3)卒業記念写真
2. 祝賀パーティー(ロイトン札幌)
  - 1)祝賀パーティー会費補助(前売券購入者5,000円、当日3,000円)
  - 2)祝賀パーティー経費補助(景品代、パンフレット・前売券作成費)
  - 3)教員への記念品補助
3. 学科会報作成
4. その他

2007年10月13日に行われた環境システム学部10周年記念フォーラムの準備等、手伝いと協賛金として2万円寄贈した。

## ホームカミングデー開催

2008年9月13日(土)



記念講演はウンチ博士としてご活躍中の理化学研究所の辨野義己氏(獣医学科6期卒)をお招きし「見た目年齢は腸で決まる!〜大切な腸内環境コントロール〜」と題し、健康の為に腸内環境が大切かと、わかりやすく講演をしていただきました。

9月の連休初日、黒澤記念講堂にて13時より第17回ホームカミングデーが開催されました。高橋一宗教主任の記念礼拝に始まり、記念講演、茶話会、見学会等を行いました。

講堂を後にして、夕方からは多くの同窓会、同期会が開催され思い出話に花を咲かせたのでした。



ホームカミングデーは酪農学園、後援会、同窓会連合会、短期大学部同窓会、貴農同志会(旧教職員の会)、大学同窓会校友会が共催して開催しています。

次回開催予定は2009年9月19日(土)13時からです。お早めに同期会等を計画していただき母校を訪ねてくださいようお願い致します。



今回初めて短期大学部同窓会による模擬授業を午前10時より同窓生会館旧5番教室にて行いました。高橋セツ子先生(元本学助教授・現藤女子大学教授)の授業を昔懐かしい木製椅子と机で受け、気持ちは青春時代です。



和やかな茶話会



美味しいソフトクリームはいかが?!

## 2008年度酪農学園大学同窓会校友会理事・代議員会報告

5月23日(金)新札幌アーキシティホテルにて2008年度同窓会校友会理事・代議員会が開催された。(出席者17名、委任状41名)野村校友会会長を議長に選出し、第1号議案:2007年度事業報告、収支決算、第2号議案:2008年度事業計画、予算について慎重に審議のうえ、承認された。その他として、学科の改編、少子化等による同窓会の対応についても真剣に討論し早急に検討が必要との見解で一致した。

### 会計報告 2007年度決算及び2008年度予算について下記の通り承認された

収 入 (単位:円)

項 目	2007年度決算	2008年度予算	備 考
前年度繰越金	10,177,203	10,314,102	
分 担 金	2,631,000	2,400,000	877名×3,000円
利 息	10,070	10,000	
助 成 金	15,000	10,000	
ホームカミングデー助成金	165,000	200,000	共催金
雑 収 入	26,000	40,000	
合 計	13,024,273	12,974,102	

### 支 出

項 目	2007年度決算	2008年度予算	備 考
会 議 費	108,784	100,000	理事・代議員会他
連 合 同 窓 会	640,200	640,200	負担金
在 学 生 関 係	100,000	100,000	白樺祭支援
会 報 関 係	207,900	250,000	印刷代
ホームカミングデー費	223,270	250,000	校友会負担分 58,270円
シリーズ小冊子	0	100,000	
コンピューター費	10,270	50,000	HP更新他
人 件 費	1,172,996	1,200,000	事務局長手当含
通 信 費	30,783	30,000	
旅 費 交 通 費	35,840	40,000	会議時交通費
慶 弔 費	21,480	30,000	
事 務 用 品 費	96,461	50,000	プリンター代、コピー代他
消 耗 品 費	30,802	30,000	マットリース代他
雑 費	31,385	30,000	振込手数料他
小 計	2,710,171	2,900,200	
次年度繰越金	10,314,102	10,073,902	
合 計	13,024,273	12,974,102	



### 同窓生会館事務担当者

同窓会校友会事務局長 野 英二  
事務担当 斎藤 公美  
同窓会連合会事務局長 新谷 良一  
事務担当 本間可奈子

Tel : 011-386-1196 Fax : 011-386-5987

E-mail : rg-kouyu@rakuno.ac.jp